

災害時に役立つ！ パッククッキング

齋藤 久代



問 地震のような突発的災害と、豪雨のように被害発生まで若干時間がある災害と分けて考えるべき。

総務部長 避難所開設ゲームを行い、運営はどのように行うか等訓練している。今後は2つに分けて想定し、実施していきたい。

総務部次長 市の防災対策ニュースを全戸配布し、災害発生時に早めの行動を呼び掛けている。

問 ポリ袋に食材を入れて料理する「パッククッキング」は、災害時に役立つ調理方法。周知を。

健康増進部長 パッククッキングは、避難所でも温かいもの、野菜を食べたい等の要望に応えることができ

〜パッククッキング〜

ポリ袋に食材を入れて湯せんで調理することで、水の使用を少なくでき、カセットコンロ、鍋、水、ポリ袋があれば、食事を作れます。災害時は、飲用に使用することも想定されます。



食材を袋に入れて湯せんで調理
(写真提供は魚沼市ホームセンター)

る。庁内の食育に関する事業で啓発を検討する。
【その他の質問】 児童生徒の個性を伸ばす・地域支援事業

導入後の運用は？ 学校防犯カメラ

石井 めぐみ



今年度運用される防犯カメラ。職員室で鮮明な画像が確認できます。

問 小中学校への防犯カメラ設置が予算計上された。運用に関する考え方は。

教育部長 導入の方法を検討した結果、警備会社による業務委託方式が最適と考え、現在準備している。

問 設置箇所と台数は。

教育部次長 1校当たりカメラ3台。映像を14日以上記録できるレコーダーと監視

モニターを職員室に設置。

問 誰が監視するのか。

答 教頭や教務主任等が監視するほか、危機管理マニュアルに沿って対応する。

問 録画映像は誰でも確認できるのか。

答 学校の教職員、警備会社、教育委員会でも確認できる。また、不審者侵入時は警察とも協力し、モニターで確認する。

【その他の質問】 定住化促進・生ごみ減量化・高齢者見守り事業・プログラミン教育

ベトナムと 都市間連携

竹原 大蔵



問 市の国際戦略の考えは。政策推進部長 大きな施策は国・県の役割。市では人的交流を通じた活動を国際交流協会や姉妹都市協会を中心に実施。

問 稼げる環境整備に向け、海外の諸都市と信頼関係を築き上げていく考えは。

市長 市の国際交流等は個人々の活動に支えられてきた。アートの活動等がきっかけで国際化に進展する要素がある。

問 日越国交樹立45周年に当たり、ベトナム政府外務省から取手市と都市間連携に関する覚書を交わす依頼が私宛てにきた。将来のた

めに締結の考えは。

政策推進部長 市の国際交流的事業は民間交流を市が支援する形で進めていく。覚書は内容が定かでないので、話を聞いて勉強したい。

経済効果UP ビジネスホテル誘致

山野井 隆



問 他自治体でビジネスホテル誘致により大きな経済効果が出ている。ビジネスホテル需要の市の考え方は。

都市整備部長 茨城空港利用者の宿泊や市内企業への訪問者など需要はある。市にとってもより多くあることが望ましい施設。

答 関連事業者からの問い合わせは受けている。現在、西口では区画整理事業が進められており、進行状況を見ながら話を進めている。

市長 市内に多くの工場や研究・研修所があり、ビジネス上、必要。人やお金の流れができるのが期待。間接的な支援をするのが市の役割と思っている。

問 グランピング（ホテルのようなサービスが受けられる新しいキャンプのスタイル）を桑原の事業提案に取り入れては。

都市整備部長 桑原の自然や水を生かした施設づくりについて協議していきたい。

【その他の質問】 買い物弱者対策

いじめをなくすために…

池田 慈



問 いじめ等、相談窓口の設置については、条例施行規則の策定が必要と考えるが。

教育部長 各学校の基本方針と市の基本方針を見極めながら検討する。

問 いじめ防止基本方針は3年をめどに見直すべきだと考えるが。

答 国の方針は3年ごとだが、適宜、見直しを図る。

問 「みんなのでいじめをなくすための条例案」には、いじめ防止の施策として「関係機関等と連携する」とあるが具体的には。

答 必要に応じて福祉関係等、多様な機関と連携を図る。具体は基本方針に明記。

問 条例案を読むと、学校の先生を支援する人が見えてこないが。

教育参事 教育委員会指導課や新設されるいじめ対策推進室が支援し、いじめ問題専門委員会へとつなげていく。

問 子どもが相談できる体制が大事。どうつなげるか。指導課長 組織を図式化し、筋道を明確にお示しする。

【その他の質問】 新設の放課後子どもクラブ内静養室の充実



ウェルネスプラザから見た取手駅西口A街区方面